

大好きな「食」を通して起業！ 家族や地元で愛される 素敵なカフェに！

cafe kielo (カフェ キエロ) 代表 佐藤 智香

創業年月 / 令和元年5月

所在地 / 南津軽郡田舎館村大根子松森41-1

TEL / 0172-88-5063 E-Mail / cafe.kielo@gmail.com



■ 青森を離れる前の生活は？

小さい頃から母親と一緒にお菓子作りをしていました。手作りのクッキーなどを友人に喜んでもらえることがとてもうれしかったですね。私が「食」に興味を抱いたきっかけはそんな日常だったのかもしれませんが。

■ 青森を離れた理由は？ どこで暮らしていましたか？

将来は食品に関わる仕事がしたく、北海道の大学へ進学。食品化学を学び、東京の大手食品メーカーに就職しました。当時は、食品開発担当としてラーメンスープ等の研究や出張で全国のお店を食歩きましたね。1日3、4軒まわる事も。この仕事もやりがいがあって楽しい仕事でした！

■ 創業のきっかけ、経緯は？

会社の仕事で3ヶ月の出向となり神戸へ。仕事のかたわらカフェめぐりをしていました。神戸はおしゃれな個人経営のカフェが多かったですね。その中で出会ったのは、とある雰囲気の良いお店の美味しいコーヒーとお菓子。忙しい日々にもっと一息つける空間がとても心地良く「いつか自分でもやってみたい」という漠然としていた気持ちを形にしたいと思ったのは、この頃だったと思います。東京に戻ってからは起業も視野に入れ、カフェ開業の専門学校にも通いました。コーヒーやお茶の知識・技術、パリストの資格、お菓子、調理技術の取得のため一所懸命学びました。現在、私

のお店で出しているコーヒーの豆を扱っている「堀口珈琲」さんには当時直接交渉にも出向き、使わせて頂ける事になりました。

■ 青森に戻るきっかけ、経緯は？

いつか地元に戻りたいと思っていた事と「自然に囲まれ、旬の美味しい食材が手に入る地で開業したい!」という想いから、岩木山を望む地元を選びました。私自身も幼い頃からこの景色に癒されてきたので、皆さんにも是非楽しんで頂けたらと思いました。

■ 創業支援拠点を活用して よかったことは？

東京にいる頃に地元での創業支援についてネットで調べました。有楽町で開催されていた相



談会に参加。その後、地元でインキュベーション・マネジャーさんに資金や事業計画、開業に必要な手続きについて相談にのっていただき無事オープンしました。

■ 現在の活動は？

「幸せが訪れる、純粹、優しさ」という花言葉に惹かれ「すずらん=kielo(フィンランド語)」という店名に。2019年5月1日すずらんの日にオープンしました。お店の看板やテーブル、コースター、メニューカバーは木製で両親合作の手作りのもの。日々のスイーツやランチはもちろん私の手作り。今では日替わりのスイーツを楽しみに来てくれるお客様も増えました。現在は地元のお客様だけでなく、遠方から定期的に通って下さるお客様もいっしょに「おいしかったです」「また来ます」と喜んでいただけるのが何よりのやりがい、幸せを感じます。

■ これからの夢や目標は？

お菓子のワークショップや料理教室をやりたいと考えています。食を通して皆で作る・食べる楽しさを共有出来たら良いですね。地元産の食材を使用することで地域活性にもつながれば良いなとも考えています。

■ 青森での「Uターン創業」を考えて いる方へメッセージをお願いします！

「これで起業してみたい!」と思ったら、気になるところへ足を運んだり、支援機関に相談したり、ま



ずは行動に移すことが大切だと思います。出来ない理由を探して諦めることは簡単ですが、コツコツ頑張っていると自然と理解してくれる人や応援してくれる人も増えていきますよ。楽しいという気持ちを大切に、周りの人に感謝しながら目標に向かって頑張ってください！

担当IM
からひとこと

東京での相談会をきっかけに伴走型支援が始まりました。開業まで長期的な準備スケジュール(約2年!)を設定し、その間、コツコツと準備を進めていく姿を見て、成功を予見しました。創業の意味をご自身で見出していることで、ビジネス視点での潔さを感じます。経営継続のバランス感覚やカフェのアイデンティティを保ちながら引き続き頑張ってください。



鎌田 IM